

COLLOQUE INTERNATIONAL FRANCO-JAPONAIS

10 ans du réseau *NihonEuropa*

Fondé et co-dirigé par Pierre-Yves MONJAL, Pr. Dr. - Chaire européenne Jean Monnet - à l'Université de Tours (France)

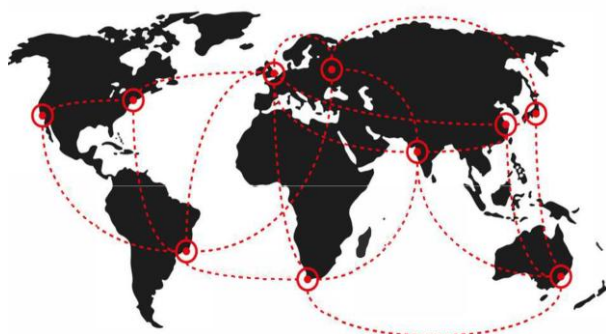
Le droit vecteur de la F/francophonie : l'exemple du Japon



Direction scientifique

Loïc LEVOYER, Pr. Dr. à l'Université de Poitiers (France) - co-directeur du réseau *NihonEuropa*

Hiroshi OTSU et Hideki ETO, Pr. Dr. à l'Université de Meiji (Japon)



18-19 mars
2025
Université Meiji - Tokyo

「日欧ネットワーク」10周年記念・日仏国際シンポジウム

フランス及びフランス語圏の媒介者としての法：日本の事例から

2025年3月18日～19日

明治大学駿河台キャンパス「グローバルフロント」3階 4031 教室

主催：日仏シンポジウム実行委員会（ロイック・ルヴォワイエ、大津浩、江藤英樹）

共催：明治大学法学部比較法研究所・「日欧ネットワーク」

後援：笹川日仏財団

【使用言語】 フランス語 ※但し、各報告の邦訳または邦語の要約をクラウド上から配布予定

（要事前登録：参加問合せ先 hiotsu@meiji.ac.jp）

【第1日目】2025年3月18日（火）

9時～9時10分：開催校挨拶：

ハインリッヒ・メンクハウス（明治大学教授、比較法研究所長）

9時10分～9時30分：導入報告「フランス語の彼方の法的フランス及びフランス語圏」

ロイック・ルヴォワイエ（トゥール大学教授）：

〔第1部〕

（第1セッション）9時30分～12時00分：「日本国憲法に対するフランス法の影響」

司会：長谷川憲（工学院大学名誉教授）

報告者：

- 大津浩（明治大学教授）「日本の2つの憲法とフランスの人民主権論」
- サミイ・ベンツィーナ（ポワチエ大学教授）「1958年フランス憲法と1947年日本国憲法についての交錯する視角」
- 糠塚康江（東北大学名誉教授）「日本の政治におけるパリテ：フランスからの示唆を受けて」
- 山元一（慶応義塾大学教授）「憲法制定権力と『グローバル立憲主義』」
- 質疑討論：11時30分～12時00分（コメント）小川有紀子（帝京大学助教）

12時00分～13時30分 昼食・休憩

（第2セッション）13時30分～16時：「統治機構に対する影響」

司会：ピエール＝イヴ・モンジャル（トゥール大学教授）

報告者：

- 徳永貴志（和光大学教授）「少数与党に直面する議院内閣制」
- 江藤英樹（明治大学教授）「憲法訴訟と司法審査制」
- ガエル・ベッソン（法政大学講師）「日本の行政訴訟におけるアクセス困難性」
- 井上武史（関西学院大学教授）「憲法改正」
- 質疑討論：15時30分～16時（コメント）ロイック・ルヴォワイエ（ポワチエ大学教授）

16時～16時20分：休憩

〔第3セッション〕16時20分～18時20分「基本権に対する影響」

司会：小沢隆一（東京慈恵会医科大学名誉教授）

報告者：

- 小林真紀（愛知大学教授）「患者の尊厳を尊重される権利：最も脆弱な人々の法的保護をいかに強化できるか」
- エマニュエル・オーバン（トゥール大学教授）「外国人の憲法上の地位に関する日仏比較」
- 水林翔（明治大学准教授）「近代」の人権の内容と現代社会における意義」
- 質疑討論：17時50分～18時20分（コメント）田中美里（成城大学専任講師）

【第2日目】2025年3月19日（水）

〔第2部〕9時00分～11時30分：「日本の私法・都市法に対するフランス私法の影響」

司会：都築満雄（明治大学教授）

報告者：

- 大澤彩（法政大学教授）「日本の契約法に対するフランス契約法の影響」
- ベアトリス・ジャリュゾ（リヨン政治学院専任講師、東洋アジア研究所所長）
「フランス法から見た日本の契約法改革」
- 工藤祐蔵（明治大学教授）「日本の財産法に対するフランス法の影響」
- 寺尾仁（新潟大学フェロー）「日本とフランスの区分所有法：荒廃対策から品位ある住宅への権利へ」
- 質疑討論：11時00分～11時30分（コメント）吉井啓子（明治大学教授）

11時30分～13時00分：昼食・休憩

〔第3部〕13時00分～15時30分：「トランスナショナルな公的活動に対するフランスの影響と日本の現代公法理論の変容」

司会：只野雅人（一橋大学教授）

報告者：

- 木村琢麿（千葉大学教授）「日本の財政法に対するフランス法の影響」
- ピエール＝イヴ・モンジャル（トゥール大学教授）「日本・EU 経済パートナーシップ協定におけるフランスの影響」
- 久保田祐介（専修大学准教授）「日本のグローバル化における地方分権主義と連邦主義」
- イザベル・ジロドー（東京大学教授）「思考実験としての人新世：日本の法学研究並びに教育にとっての有効性」
- 質疑討論：15時00分～15時30分（コメント）ガエル・ベッソン（法政大学非常勤講師）

15時30分～16時00分：休憩

〔第4部〕16時00分～17時30分：「日本の社会権並びに社会保障に対するフランス法の影響」

司会：ロイック・ルヴォワイエ（ポワチエ大学教授）

報告者：

- 関根由紀「日本法における社会保障の財政問題：フランスとの比較法的思考」
- 岩垣真人（奈良県立大学准教授）「日本の教育権における差異と平等」
- 質疑討論：17時20分～17時50分（コメント）永野仁美（上智大学教授）

【総括】 17時30分～18時00分

- ピエール＝イヴ・モンジャル(トゥール大学教授、日欧ネットワーク創設者)
「日仏関係の10年」

【フランス側報告の邦訳担当者】

長谷川憲(工学院大学名誉教授)、只野雅人(一橋大学教授)、大津浩(明治大学教授)
金井悠一郎(東京都立大学助教)、樋口惟月(慶応義塾大学院生)、辻健司(明治大学院生)、古木凌(明治大学院生)

【設営担当スタッフ】

コリーヌ・マルケ(ポワチエ大学助手)、松尾直紀(法政大学院生)、落合健太(明治大学院生)、溝手隆生(明治大学院生)

(参加問合せ先)大津浩(明治大学法学部教授)

hiotsu@meiji.ac.jp

【共催団体・協賛団体・協賛組織】

